

春季東北地区高校野球 あす開幕

青森県代表3校の春季県大会チーム成績

※本＝本塁打、三＝三塁打、二＝二塁打

チーム	試合数	打数	安打	長打			打率	得点	打点	四死球	犠打飛	盗塁	三振	失策	失点
				本	三	二									
青森山田	5	161	61	3	2	11	.386	44	40	19	8	8	14	9	6
八学光星	5	136	60	0	6	15	.463	60	50	27	14	12	23	4	8
下山学園	5	177	58	1	0	6	.326	23	18	24	9	6	31	7	20

青森県勢3校挑む

第73回春季東北地区高校野球大会は9日、弘前市のはるか夢球場と青森市のダイシンベースボールスタジアム（青森市宮球場）の2球場で開幕し、東北6県の代表14校が優勝を目指してしのぎを削る。

青森県からは、3年連続の第1代表・青森山田、2年連続の第2代表・八学光星、初出場の第3代表・下山学園が臨む。

青森山田は投打ともに安定感があり、堅実な試合運びが武器。打線は投打二万流の川久保昂直を先頭に、下位まで切れ目がなく、犠打や盗塁などの機動力も駆使して得点を量産する。投げては川久保、

高橋煌翔の左右エースに加え、制球力が高い手代森爽来（天間林中出）らタレントがそろい、5試合6失点と守りが安定している。

3年ぶりの優勝を目指す八学光星は、県大会のチーム打率が4割を超え、5試合で計60得点の攻撃力が売り。菅沼

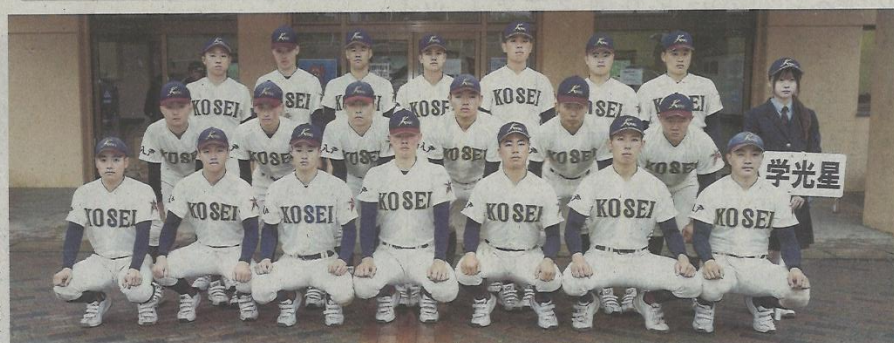
晴斗、新谷翔磨、新谷梨夏の長打力がある中軸に加え、出塁率の高い長野宏紀、佐々木龍馬ら好打者がそろった。プロ注目のエース北口晃大の出来が鍵を握る。県大会決勝では3回5失点と崩れただけに、復調が待たれる。

接戦続きの県大会を勝ち抜いた下山学園は勢いがある。投打の軸は関貴城。球質の重い直球と制球力が武器で、県大会では計15回を投げ無四球15奪三振2失点と圧巻の投球を見せた。打撃でも2番指名打者に座り、1本塁打、3二塁打と爆発力がある。松江榎から始まる上位打線で得点を奪えれば勝機は十分だ。

県代表3校はいずれも9日が初戦。八学光星はダイシンで盛岡大付（岩手②）と対戦する。試合開始は午前9時。はるか夢では、下山学園・東海山形（山形②）が午前9時、青森山田・鹿角（秋田②）が午前11時半試合開始。

（大西桂介）

八学光星（青森県第2代表）



八学光星・仲井宗基監督 今回の東北大会には、将 県大会決勝で敗れた甲子園常連校がそろった。非常にレベルが高く、はもつ負けられない。夏の甲子園につながる試合を目指し、チーム一丸で挑んでいきたい。